

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

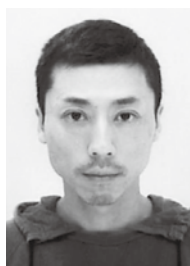
No.586

竹の子会総務委員会

平成29年3月9日

例会（新年互礼会）

日時：平成29年1月20日（金） 場所：四鳥



総務委員会
副委員長
伊藤 仁志

54期入会の総務委員会副委員長の伊藤仁志です。平成29年1月20日（金）、今年最初の事業となります新年互礼会が「四鳥」にて行われました。今年の新年互礼会には、大垣市長をはじめ、20名の特別会員、22名の現役会員に参加いただき、事業を盛況に行うことができました。

中島総務委員長の司会により、開会の辞から始まり、林会長の挨拶、特別会員の紹介、若原OB会副会長のご挨拶、先輩会員を代表して田中OBのご挨拶、そして大垣市長にご挨拶をいただき、乾杯は猫田OBの音頭により、今回初めて大垣の地酒、枡を使って行われました。さらに、来期62期の会長予定者による来期常任予定者の紹介、恒例の参加者全員で肩を組んでの会歌斉唱、金森OBに締めのお言葉をいただき、閉会の辞にて閉めさせていただきました。

私にとっては現役最後の新年互例会となりました。担当事業ということもあり、諸先輩方となかなかお話しすることはできませんでしたが、会員に

とってこの新年互例会は先輩方とお酒を酌み交わし、これまでの経験や思いを学べる貴重な機会であったと思います。時代と共に当会も変わりつつありますが、特別会員の皆さまが、これまで築き上げられてきた歴史、伝統を継承しつつ、更なる会の発展につなげていければと思います。

最後に、滞りなく新年互例会を終えることができました。ご参加いただきました特別会員、現役会員の皆様ありがとうございました。そして、まだ今期も半分残っております。62期に向けていい雰囲気につなげられる様、林会長のもと、団結して今期を盛り上げていきましょう。



第62期 会長予定者あいさつ



第62期
会長予定者
三島 秀昭

この度62期会長に選任いただきました、55期入会の三島秀昭です。入会して7年目ということで現役会員の中ではもう古い存在になる私ですが、この伝統ある大垣竹の子会の会長という立場になると、とても緊張かつ不安な日々を過ごしております。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、私は、片親で子供三人を育てております。そんな私にお話ができるのは夢にも思っておらず、正直、家庭の事もあり悩みました。しかしながら7年間活動してきて、国際交流や交通遺児達への活動、祭り行事など普段では経験できない活動を行っているこのすばらしい会の会長をやらしていただけるという事で大変誇りに思い、自分を更に成長させたい、なにより後悔したくないその気持ちでお返事をさせていただきました。

今期、林会長が、原点回帰ということで、現状把握、会員の想いを語り合う時間を設けていただきました。来期はその意見を参考に、永きにわたる伝統を引き継ぎながらも、目的を見失わず自分達でできることを精一杯やっ払いこうと考えております。ま

た現在、会員減少に歯止めがかからない現状ではございます。会員全員が家族をはじめすべての人に自信をもって誇れる会を目指し、より一層魅力のある会にしていきたいと思ひます。

ここからは現役会員の皆様へのお願いになります。皆様、仕事も家庭もある中で貴重な時間を割き、それぞれの目的をもって青年活動をされていると思ひます。その時間を大切に様々な活動に参加し、そしてチャレンジしていただきたいと思ひます。その経験が今後の仕事や家庭に生きてくるはずでひす。

来期より現役メンバーが33名となります。現役メンバーの大半が役員という形ではありますが、例年通りのような行事にとられることなく、改善していくべきところがあれば、みんなで考え活動しやすい環境をつくっていききたいと思ひます。元気よく、楽しい、そして仲間同士で成長しあっているそんな会にしていきたいと私は考えております。

最後になりますが、62期会長という大役を与えていただいたことに感謝をしつつ、まだまだ未熟で若輩ものの私ではありますが、精一杯務めていく覚悟でございますので、何卒、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



第62期 副会長予定者あいさつ



第62期
副会長予定者
小林 明人

第58期入会の小林明人です。この度は第62期副会長に選出いただき光栄に思います。

私が入会したころ、すでに会員の減少が大きな問題となっていました。いかんともしがたい社会情勢の変化の中で、いかにすれば活動を継続していくことができるか、当会は模索の時代にあります。そんな折に、三島会員が来期の会長を引き受けられました。仕事にも家庭にも重い責任を負っているにも関わらず、彼は「竹の子会のことが好きだから、いつか会長をやりたい。」と言い、熱心に活動に取り組んできました。歴代の会長にはなかった制約があるかもしれませんが、必ずそれを乗り越えて会長の務めを果たしてほしいのです。それはこの逆風の時代に当会が将来の存続に希望を見出す貴重な経験になるはずです。そのお手伝いをしたいと思い、この大役を受けさせていただきます。

また委員会のマネジメントも副会長の重要な役割になります。特に、委員長を引き受けてくれた会員諸氏には、会務活動に満足してもらえるような環境を整えてあげたいと思います。

当然ながら、私にも未熟な面が多々あります。自らを成長させ、任を果たしたいと思いますので、どうかご指導のほどよろしくお願いいたします。



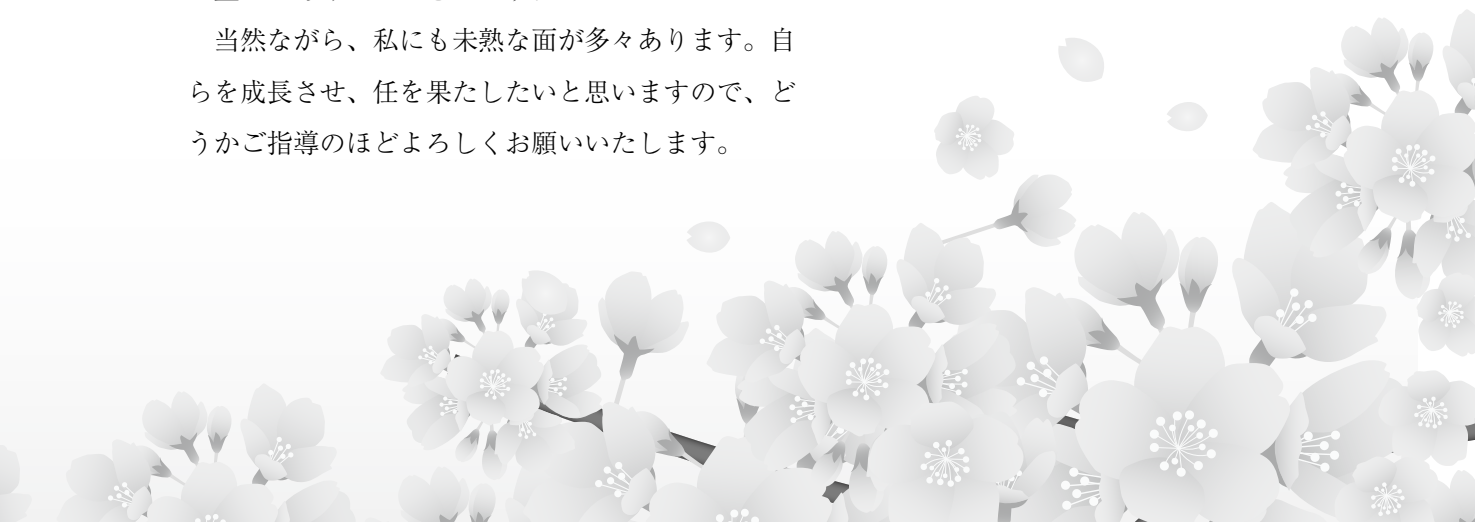
第62期
副会長予定者
名和 良能

皆さんこんにちは。58期入会の名和良能です。この度62期副会長予定者としてご承認していただきありがとうございます。来期で竹の子会に入会して4年目になりますが、副会長のお話をいただいた時は、この大役を務めることができるか不安でいっぱいでした。しかし、このような機会を大きなチャンスとし、同時に自分の成長を見つめ直すきっかけとしたと思うようになりました。

今期は奉仕委員長として取り組んできましたが、会員の力なしでは、事業ができないことを実感しました。来期の三島会長予定者を盛り立てられるように感謝の気持ちを忘れず、今までの経験を生かし精一杯取り組んでいきたいと思います。そして例年会員減少の問題はありますが、今以上に魅力のある会にし、大垣竹の子会の伝統を築いていきたいと思っています。

最後になりましたが、まだまだ未熟な私ではございますが、頑張っていきますので、

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



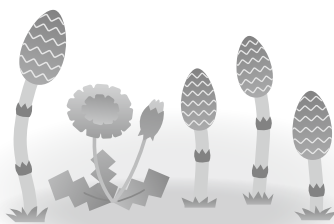
第62期 事務局長予定者 あいさつ



第62期
事務局長予定者
赤尾 龍磨

この度、第62期事務局長を務めさせていただくことになりました56期入会の赤尾龍磨です。最初、事務局長という大役の話をいただいたときは、非常に光栄に思う反面、正直引き受けることにプレッシャーを感じ、躊躇いたしました。しかし、入会から6年が過ぎようとしており、現会員の中では比較的長い在籍となってきた責任もありますし、自分もこの歴史ある竹の子会を次の代に引き継いでいかなければいけないという責任から、この大役を引き受けさせていただくことにしました。不安なことばかりですが、引き受けたからには、三島会長の熱い思いを副会長とともに支え、一緒に竹の子会を盛り上げていけるよう一生懸命務めていきたいと考えています。

まだまだわからないことばかりで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからも皆さんにご指導、ご協力いただきながら、全力で1年間頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



第46期 大垣市青年のつどい 協議会副会長予定者あいさつ



第46期
つどい副会長予定者
金山 幸生

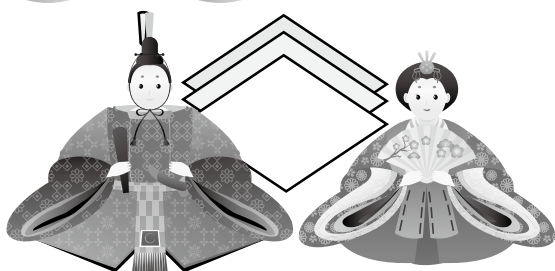
この度、大垣市青年のつどい協議会の副会長として出向することになりました、54期入会の金山幸生です。

竹の子会で60周年、つどいでは45周年という記念すべき期にどちらでも副会長という大役に任命していただいたことを嬉しく思いますが、少しだけプレッシャーも感じております。他団体から出向してみえる常任の方々も非常にすばらしい方々なので、会の代表として恥ずかしくないように一年間精一杯やっていきたいと思っています。

最近では会員の減少とともに、つどいの事業の運営についても様々な意見が出ています。自分自身つどいの事業は、どの事業も大好きで毎回非常に楽しみにしています。ただ現状今まで行ってきた規模で事業を行うことが厳しくなってきているので、今までのような内容から少しだけ変えなければいけないのかな？と感じています。今回自分が担当する事業では、ただ楽しめる事業ではなく、今後を見据えた事業計画をしていけたらよいと思っています。

各会員、先輩方にはご無理なお願いをすることになるかとは思いますが、よろしくお願いいたします。

3 4 月の予定



例会(家族親睦会)

日 時：平成29年 3月26日 (日)
場 所：大垣市中川地区センター

例会(新入会員例会)

日 時：平成29年 4月21日 (金)
場 所：青年の家 体育館 (講堂)